

平成29年度 対策一覧表

【大磯小学校】

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容等	対策初年度
1		大磯620付近	紅葉山、山道。防犯灯（05-087）付近、ガードレールが無いため、崖に落下する危険性が高い。ガードレールをつけてほしい。	ガードレールの設置は、地盤の強度や予算措置が必要なため、長期的に検討しますが、短期的にそれに代わる安全対策を検討して設置します。また、学校・地域は児童に対してその場所の交通安全指導をお願いします。	H29
2	国道1号線	大磯1288付近	交差点コーナー部分にポールを立てて欲しい。そうすると左折車との接触の危険を軽減できる。（反対側にはポールが立っているので、同様の物をお願いしたい。） 鳴立沢信号、大磯小学校平塚側の歩道。大磯小学校側から平塚方面に左折する車が歩道に乗り上げそうで危ない。観光客が増え歩道に人があふれて、児童が通りにくい。 歩道の角にポールを立ててほしい。通学路注意の看板を設置して安全確保してほしい。	【平成30年1月30日に合同点検を実施】 2つの横断歩道のどちらかに通学路をまとめる案も出ましたが、交差点で信号を待つ子どもの人数が増えて危険との意見もあり、現状のままで対応することになりました。 ポール等の遮蔽物を付けることは可能ですが、道路下に川が流れているため、強度を確認する必要があるとのこと。また、設置後に破損した場合は壊した人の責任で修繕することになることも承知しておいてほしいと国道の道路管理者より話がありました。 町としては、ストップマークを設置しましたので、学校・地域においても交通安全における指導をお願いします。	H29
3		大磯1505付近	海岸から急な坂を渡ったすぐにある十字路を児童は横断するので、横断歩道をお願いしたい。自動車は急な坂を上るためかなりのスピードで走ってくるので危険である。 照ヶ崎海岸入口の信号からプールへ下る坂道途中の交差点。道幅が狭く車が通ると危ない。車、自転車が勢いよく通るので交差点の通行時危険。グリーンベルトを引いてほしい。交差点に歩行者注意の看板を設置してほしい。	交差点には道路鏡（交差点などの視認性を高めるため、路面に埋め込む金属製の鏡）が設置されています。道路状況を確認した上で、カラー舗装や看板等を含めた交通安全対策を警察と協議の上、今後検討します。	H29
4	国道1号線	国道1号線（滄浪閣前） 滄浪閣信号交差点	歩道、信号待ちのスペースが非常に狭い。側道から車が進入することも多く多数の児童が信号待ちをしていると危険。跨線橋山側から走行車が左折する際、後輪が歩道に乗り上げることがあり危険。宇賀神社側、角地に電柱や街灯が多数あり見通しが悪い。信号早く変わるため加速する車がいる。 ガードレールの設置、歩道に縁石をつけてほしい。多数ある電柱類などを移設し安全確保をしてほしい。信号がかわる間隔をのばしてほしい。	【平成30年1月30日に合同点検を実施】 交差点の退避場所は町側の土地であるということが国道管理者と確認ができました。 今後は、退避場所を拡げられるかについて、検討していきます。	H29
5		大磯492～502付近	白線が途中で切れていて、その先の駐車場前は道幅が少し広がっており、子どもたちが広がって歩くので危険。 白線を延ばすか、グリーンベルトを引いてほしい。	他の場所と合わせて、計画的に設置を検討していきます。	H29
6		なかよし公園～東町3丁目 までの道路	道幅は狭いが抜け道となっておりスピードを出す車も多く危険。付近には高校や保育園もあり自転車も多い。 グリーンベルトを引いてほしい。	他の場所と合わせて、計画的に設置を検討していきます。	H29
7	国道1号線	大磯1188付近 藤田眼科前の坂道付近	自転車がスピードを出して下りてくるので危険。 注意喚起の看板を設置してほしい。	【平成30年1月30日に合同点検を実施】 自転車については基本的に運転者のマナーの問題となり、道路の構造上事故が多発する等の理由がない限りは、道路に対して特段の対策はできないことと、自転車の速度対策のためだけに歩道に注意喚起の舗装をすることも難しいと国道管理者より回答がありました。 また、啓発看板の設置については、町側で案を提出しましたが、国道管理者より設置の許可は難しいと回答がありました。	H29